

## 和歌山病院での研修を終えて



松山 雄樹

私は2018年11月の1ヶ月間、国立和歌山病院呼吸器内科にて臨床研修をさせて頂きました。今回私が研修先に選択した理由は、当院が拠点型結核相談支援センターであり、結核の治療を経験できると考えたからでした。また一般的な呼吸器疾患の診療も含め、先生方の手厚い指導を受けられるとお聞きしていたので、非常に楽しみにしておりました。

研修を終えた今、和歌山病院を選択して良かったと強く感じております。1ヵ月という短い期間にも関わらず、外来・入院あわせて数多くの患者さんを経験させて頂きました。また、2人の結核患者さんの主担当医として診療にあたることができました。今回の研修で一番印象的だったのは、結核患者さんに病状説明をさせて頂いたことです。結核患者さんがどのようなことを不安に思うのか、事前に上級医の先生のアドバイスを頂いており、無事病状説明は終了しました。結核の講義を何度受けても得られない貴重な経験をさせて頂きました。唯一の心残りは、研修期間が短いため結核患者さんの退院を見届けられなかったことです。

研修中用意されていたミニレクチャーも大変勉強になりました。南方先生の胸部Xpの講義では、まさに「匠の技」の一端を垣間見ることができました。また検査技師、薬剤師の先生方からもレクチャーを頂き、普段とは違った視点での意見を伺うことができました。

今回の研修で得たことを活かせるよう、今後も精進して参ります。最後になりましたが、南方先生はじめ各科先生方、病棟・外来・検査室・医局スタッフの皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。今後とも何卒宜しくお願い致します。